

製造業安全対策官民協議会 サブWG(田村チーム)
～これまでの取り組みと今後の進め方～ (案)

1. 田村チーム検討課題

- ◆産業安全の経済効果と社会的評価
- ◆産業界における安全教育の体系的プログラムの策定

2. これまでの取り組み等

- 第1回検討会 平成29年6月28日
 - ・経済効果については、中災防が平成12年に実施した「安全対策の費用対効果に関する分析」(企業における安全に係る費用対効果比は、1:2.7)の概要等、現状把握
 - ・社会的評価については、厚生労働省の「安全衛生優良企業制度」等の概要を説明してもらう等、現状を把握
- 第2回検討会 平成29年8月7日
 - ・社会的評価(表彰)に関するアンケート調査票の検討
 - ・各階層別の安全教育のプログラムに関するアンケート調査票の検討
→各アンケート調査の実施(8月8日～9月11日)
- 第3回検討会 平成29年12月20日(水)
 - ・産業界の学校教育への協力に関するアンケート(案)の検討
 - ・産業安全の経済効果に関する企業向けアンケート(案)検討
→各アンケート調査の実施(1月29日～2月28日)
- 第4回検討会 平成30年2月28日
 - ・産業安全の社会的評価 -健康経営-
 - ・産業界における安全教育の体系的プログラム -危険体感教育-

※ 以下予定

- 第5回検討会 平成30年6月18日(予定)
 - ・産業界の学校教育への協力に関するアンケート結果概要と、その結果を踏まえ、産業界として学校教育に貢献でき得る事項などについて自由な意見交換
 - ・産業安全の経済効果に関する企業向けアンケートの結果概要(中間報告)と、その状況を踏まえた、さらなる実態把握のための方策の検討

3. サブワーキンググループ(田村チーム)の今後の検討の進め方

- ◆産業安全の経済効果と社会的評価

(1)産業安全の経済効果

- ①産業安全の経済効果に関する企業向けアンケートをとりまとめ、実態を把握する。
- ②調査結果をもとに有識者等を交えて、引き続き検討する。

(2)産業安全の社会的評価

- ①経済産業省の「健康経営」等の手法を参考に、社会的評価に報いる方法について検討する。

- ◆産業界における安全教育の体系的プログラム等関係

(1)安全教育の体系化

- ①まず、危険体験教育について、キーワードを手がかりに、産業分野に「共通」する、又は「分野別」の階層別の安全教育プログラムを検討する。
- ②社外向けに危険体感教育を実施している機関の把握方法を検討する。
- ③次いで、安全教育全般について、産業分野共通、分野共通の階層別の安全教育プログラムを検討する。

(2)学校教育

- ①産業界の学校教育への協力に関するアンケート結果を踏まえ、当分の間は、産業界として学校教育に貢献でき得る事項などについて自由な意見交換を行う。

以上